

埋蔵文化財センターの新研修棟

埋蔵文化財センター

当センターの主要業務である研修は、昭和49年以来研修施設（平城宮跡内）と宿泊施設（法華寺町）の分離を余儀なくされてきた。幸い宮跡西側に隣接する奈良医科大学附属病院の移転跡地と建物を活用する本研究所の統合移転が可能になったため、53・54年度で旧看護婦寮を新研修棟兼宿泊施設として改修することができた。この建物は冷暖房設備を備え、特に視聴覚教室はスクリーン・テレビ・音響の各装置が相当に機能する総合システムをもち、今後の研修に大いに活用されることが期待される。下に完成後の各階平面図を示す。 (織井 弘一)

